

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
機械工学概論	前期	木	4	1 時限 9:10~10:50	若干名
工業法規		木	4		
生態環境科学		木	1	2 時限 10:55~12:35	
生活の科学		木	4	3 時限 13:20~15:00	
デジタル回路		火	4	4 時限 15:05~16:45	
ICT 概論		水	5	5 時限 16:50~18:30	
社会学概論		月	1		
産業心理学		木	1		

※授業の曜日・時限等は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月10日(水)から開始します。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市普濟寺1690

JR高崎線岡部駅下車 無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/>

自家用車による通学可(駐車場無料)



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
※受講科目決定後に、振込にて納入いただきます。
※一旦納入された受講料は、お返しできませんのでご注意ください。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和6年2月1日(木)～3月8日(金) 必着
- (2) 申込先
〒369-0293
埼玉県深谷市普濟寺1690
埼玉工業大学 教務課 リカレント係
TEL: 048-585-6813 FAX: 048-585-5939
E-mail: kyomu@sit.ac.jp
- (3) 申込方法
はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、以下の事項をもれなく
記入の上、お申し込みください。
①郵便番号・住所
②氏名(フリガナ)
③年齢(令和6年4月1日現在)・性別
④電話番号
⑤受講希望科目(何科目でも可)
- (4) 選抜方法
定員を超える申込みがあった場合は、先着順により受講者を決定します。
受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
授業は原則として対面で実施します。
キャンパス内では本学が定める感染対策にご協力ください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

No	科目名 (担当教員)	概要
1	機械工学概論 (長谷 亜蘭 准教授)	“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。
2	工業法規 (河田 直樹 教授)	知的財産権を中心とする工業分野の様々な法規の解説と、知的財産権のうち、特許、意匠、商標の出願方法の演習からなる講義を展開する。 例えば、昨今の IoT や AI の普及による様々な技術革新の流れの中で特許を取得することは、多くのビジネスチャンスを生み出すきっかけとなっている。工業法規を学ぶことで、特許などの権利獲得までの流れとコツをつかみ、変革していく社会における知的生産活動の糧となれば幸いである。
3	生態環境科学 (秋田 祐介 准教授 秦田 勇二 教授 本郷 照久 教授)	我々人間を含めたあらゆる生物を取りまく自然環境を「生態」といいます。本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察します。第一部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介します。第二部では、海洋の生態やその利用法について解説します。第三部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説します。
4	生活の科学 (松浦 宏昭 教授 田中 睦生 教授 青木 寛 非常勤講師)	我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学や材料化学、エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。

5	<p>デジタル回路 (吉澤 浩和 教授)</p>	<p>本講義は、デジタル回路の基本となる2値論理演算から始めて、基本ロジック回路、そして基本回路を組み合わせたより複雑な回路について学んでいきます。最終的にはカウンター回路の設計方法を理解できるように説明を行います。そのために必要なさまざまな手法や各種フリップフロップなどの基本知識について解説を行っていきます。</p>
6	<p>ICT 概論 (高橋 優 教授)</p>	<p>情報化社会は、AI や IoT (モノのインターネット) 技術の発展により変革期を迎えています。このような情報化社会を支える技術や仕組み、役割について学びます。普段使っている情報機器がどのように情報化社会と関連しているのか、情報がどのように収集・活用されているのか、PC を用いた演習を通じて学習します。</p>
7	<p>社会学概論 (平田 文子 准教授)</p>	<p>社会学という学問がなぜ近代に必要なになったかという社会学成立の過程を含めて社会学の概論を講義する。唯物論・唯心論の物心二元論の思想から、16 世紀の実証科学の発展、進化論、マルクスの唯物史観、マックス・ヴェーバー、エミール・デュルケーム、そして20 世紀後半のパーソンズまで、基本的な社会学理論を講義し、実証科学としての方法論とデータや調査の限界についても講義する。</p>
8	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) (村中 昌紀 准教授)</p>	<p>産業心理学 (産業・組織心理学) は、働く人の心や行動のメカニズムについて研究する、応用心理学の一分野である。授業では、産業・組織心理学全般について講義する。その内容には、職場における問題 (メンタルヘルスやキャリア形成に関することなど) に対して必要な心理に関する支援と、組織における人の行動が含まれる。</p>